

1 開催日時

令和6年1月24日（水）午前10:00～午前11:15

2 開催場所

佐伯市中村南町1番1号
佐伯市役所6階 第1委員会室

3 出席者等

出席委員9名（欠席2名）、傍聴者1名
オブザーバー 佐伯市農林水産部長
事務局 林業課課長、課長補佐、総括主幹、課員1名

4 内容

- (1) 開会
- (2) 農林水産部長あいさつ
- (3) 会長あいさつ
- (4) 議長選出（松原委員）
- (5) 議題

- ・佐伯市森林整備計画の変更について

- ① 事務局から、佐伯市森林整備計画変更（新旧対照表）【資料1-1】、「特に効率的な施業が可能な森林」の区域設定について【資料1-2】、佐伯市森林整備計画書【資料1-3】を説明
- ② 委員から出された意見等
なし

- ・第2次佐伯市林業振興計画（令和5～9年度）の取組状況について

- ① 事務局から、第2次佐伯市林業振興計画取組状況【資料2】を説明
- ② 委員から出された意見等

- ・スギの苗木生産の拡充について

県内のスギ苗木の需要・供給の状況としては、県内で賄える苗木が不足している。佐伯市も積極的に生産拡大への取組をされているということで非常にありがたいと思っているが、新規生産者は現状増えている状況なのか。

（事務局：年々少しずつではあるが増加。生産量についても、元々生産されていた方の技術の向上もあり増加傾向。生産者は、軽作業で作業ができるということで、高齢者の方々も生産に加わっており、南部地域苗木生産者協議会の皆さんも一致団結して頑張っている状況。）

- ・スギの苗木生産の品種について①

国も低花粉・少花粉の品種を増やす取組を打ち出しているところであるが、生産者の品種についてお聞きしたい。

（事務局：低花粉・少花粉の品種が特定されているものとされていないものがある。今

後、苗木として増やしていくのは、品種が特定されたものについて生産していく方向で進めている。）

・スギの苗木生産の品種について②

森林所有者が、造林の際、スギの品種を選んでいるのか。

（事務局：主に生産されているのはオビ系統のスギ品種であるが、おそらく森林組合等の林業事業体の方で選定されている状況ではないかと思う。）

・将来の林業担い手確保の取組について

日本文理大学附属高校の生徒を対象に、林業見学会を実施しているが、やはり実際の現場を見てもらうのは、自分の仕事を選ぶ上で参考になるかと思う。そのため、対象を他の学校や市外の学校へとできるだけ広げた方がよい。

・有害鳥獣対策について

イノシシやシカの獣類は、人との距離を何か取る方法を考えるしかないと思うので、今取り組んでいる防護柵の設置によって確実に近づかせないようにしていくことがまず大事であると考えます。

また、獣類は、収穫物を田や畑に放置するなどの状況があると、餌目当てに寄って来るので、人間側もそういった寄って来ない方法を皆さんにアピールされていくと良いのではないかと思う。

(6) その他（報告）

・国森林環境税及び森林環境譲与税について

① 事務局から、国森林環境税及び森林環境譲与税について【資料3】を説明

② 委員から出された意見等

・森林環境譲与税の使途について

国民の皆さんから税金を納めていただく中で、森林環境譲与税の使途をお知らせし、理解をいただくのは非常に大切であると思うが、ホームページ等でPRをしているか。

（事務局：現在、市のホームページでは、これまでの使途の一覧表だけでなく、取組を写真付きで掲載し、記事の拡充を図り、現在、公表している。また、今月の市報1月号には税務課から徴税内容のお知らせと林業課から譲与税の使途について掲載し、全戸配布している状況）

・県の森林環境税について

佐伯市であまり使われていないのかなと感じている。多分、活動の補助金等を知らないで、自分たちで集めたり賄ったりして活動されている団体もあるのではないかとと思われるので情報発信をされると良い。

・国有林（大分南部流域）の次期森林計画の検討方向について

① 大分森林管理署から、次期森林計画についての森林管理署の検討方向【資料4】を説明

② 委員から出された意見等

なし

(7) 閉会